ふるさと歴史散歩 224
～松前史談会レポート～

地蔵町駅界隈ええとこめぐり Ⅰ

伊予鉄地蔵町駅すぐ西の北黒田旧国道（大洲街道）交差点に延命地蔵尊があり、地蔵町の名の由来となっている。地蔵町と呼ばれるようになったのは、文政７（1824）年のことである。

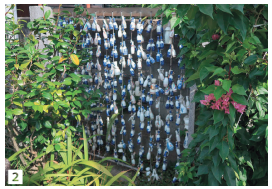
地蔵菩薩は、宝暦８（1758）年、松山藩主松平隠岐守定喬が信濃国（長野県）の善光寺から勧請（分霊を移して祭る）したものであり、代々藩主の信仰あつく、家老職が藩主に代わって参拝していた格式ある地蔵尊である。現在の堂宇は、昭和 28（1953）年８月に地元奉賛会により再建奉納された。

延命地蔵尊は、短命夭死（年若くして死ぬこと）の難を免れさせる徳を持つ仏として広く信仰され、長寿を願って現在も参詣する人が多い。境内には、信者から祈願成就のお礼参りに奉納された御神酒徳利がつるされている。

信者は近在近郊までおよび、毎年、４月と８月の 24 日には、駅前の通りに露店が並ぶほど参拝者でにぎわっていたが、現在では地元組内の奉賛会が中心となり「百万遍繰り念珠」を唱え供養されている。扁額「延命地蔵」は、加藤精神大僧正（町内徳丸出身の学僧で、徳丸の本性寺に胸像がある）の書であり、真言宗豊山派総本山長谷寺の管長に就任、長谷寺の能化（指導者）となった人物であり、大正大学・東洋大学学長を歴任した仏教学の権威である。

延命地蔵の境内には短歌二首が刻まれた歌碑があり、信仰のあつい信者のいることが分かる。次号に続く（武智修一記）

1 **延命地蔵尊**
松山城主がこの地へ勧請した理由は明らかでないが、享保の大飢饉の犠牲者を弔い、領民の息災を祈願したものと考えられる



2 **祈願成就お礼の御神酒徳利**
祈願成就のお礼が御神酒徳利になった由来は定かでないが、徳利の水でいぼが取れるという地蔵信仰があり、祈願成就のお礼が徳利になったという伝え話がある

1 月の歴史散歩は実施しません。

問 松前史談会（麻生）☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館だより

【開館時間】 9 時～22 時 【休館日】 12 月 28 日～１月４日

◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

北公民館 おもしろミニ工房

毎月順番に活動内容をお届け！

11 月 11 日、「おもしろミニ工房」を開催し、岡田小学校の児童とその保護者など 26 人が参加しました。

今回は、わくわく夢工房代表の宮内節子先生の指導の下、クリスマスリースを制作。まずは、赤いフェルトを丸く型取って、うずまき型にハサミでカット。くるくる巻いてバラの花をたくさん作ります。「どんなデザインにしようかな」と、みんなで相談しながら、リースに木の実やフェルトで作ったバラの花を接着剤でくっつけ、仕上げにリボンを添えます。バラの花がたくさん咲いた、すてきなクリスマスリースが出来上がりました。

これで、クリスマスの準備は万端。みんなで楽しいクリスマスが過ごせそうですね。

㊧個性あふれるリースの数々
㊨フェルトを丁寧に巻いてバラの花を作製中

Let's Enjoy Books ふるさとライブラリー

◆開館時間 9 時 30 分～19 時
◆問い合わせ ☎ 985-4140
FAX 985-1386
https://www.i-masaki.jp/library/
◆１月の休館 １日㊊～４日㊍、31 日㊌

おはなし会
20 日㊏
11 時～
文化センター
２階ふるさと学習室

今月の特別展示

一般書は２カ月ごとに、絵本は毎月テーマを変えて特別展示をしています。

１・２月の一般書のテーマは「古典をひもとく」。平安時代までの作品と、その時代を舞台に描かれた現代小説や、新しい解釈を加えた令和版現代語訳や解説本などを多彩に取りそろえました。

１月の絵本のテーマは「笑う門には福来る～ユーモア・ナンセンス絵本～」。クスっとしたり、お腹を抱えて笑ってしまうような絵本をご用意。新しい1年の始まりを笑顔で迎えましょう。

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶私が鳥のときは
平戸萌・著
河出書房新社

中３の夏休み、蒼子の母が余命わずかなバナミさんをさらってきた。蒼子の家で暮らし始めるバナミに腹を立てる蒼子だが、ひょんなことから一緒に受験勉強をするようになり…

▶月ぞ流るる
澤田瞳子・著
文藝春秋

きらびやかながらも残酷な政争に心を痛める朝児（赤染衛門）は、これを歴史として書き記すことが自分の役目なのではないかと筆を執る。「栄花物語」の作者である朝児からみた宮廷の姿を描く物語

▶ツミデミック
一穂ミチ・著
光文社

「罪」と「パンデミック」をテーマにした、全６編の「犯罪」小説集。コロナ禍の中で世界に翻弄された人々が、悪意に触れて落ちていく。後味の悪さと希望の光が残る、心揺さぶる短編集

◀わたしたちの親不孝介護
川内潤・著
日経 BP

親とは距離を取るほうが、自分も親もうまくいく。各界の有名人８人が、成功例だけでなく失敗談も含めて自らの経験を対談形式で語る。親も自分も幸せな人生を送るための新しい介護についての本

◀じつは伝わっていない日本語大図鑑
山口謡司・監修
東洋経済新報社

「10 時まわってから」って何時何分？「見積もりに色をつけて」って何色にすればいい？日本人なのに、通じない日本語を紹介。言葉の世代間ギャップにより若者に理解されにくい言葉を知って、語彙力を UP させませんか

◀股関節痛こわばり・だるさ・脚長差自力で克服！
高平尚伸・著
文響社

痛みやこわばりを解消する1分体操、術後の痛み解消に役立つリハビリ法や脚長差を改善する体操など、さまざまな股関節痛の対処法を完全網羅した最新の自力ケア・マニュアル。写真やイラストを使って分かりやすく解説